

## ○普及に移す技術

[タイトル] ネギ葉枯病菌による黄色斑紋病斑発生低減のための効果的な薬剤防除開始時期

[要約] 9月収穫の作型の場合は8月上中旬から、10月以降収穫の作型の場合は8月中下旬からの継続的な薬剤防除により黄色斑紋病斑による外観品質低下を低減することが可能である。

[キーワード] ネギ ネギ葉枯病 黄色斑紋病斑 化学的防除

[担当場所・課] 農林水産総合技術センター・園芸研究所・野菜課

[連絡先] 電話 0763-32-2259

---

### [背景・ねらい]

県内の9月以降出荷の白ネギで問題となっている黄色斑紋病斑の病原菌 (*Stemphylium* sp.) 胞子の飛散量は例年8月下旬以降にピークを迎える (図1、令和元年度普及上参考となる技術) こと、他県の知見から薬剤防除による被害低減の可能性があることから、本県における薬剤防除の開始時期を検討した。

### [成果の内容・特徴]

- 1 9月収穫の作型の場合は、8月下旬からの薬剤防除開始では大型病斑 (図2) の発生低減効果は不十分である (表1)。8月上中旬からの継続的な薬剤防除により大型病斑の発生を低減することができ、総収量の5%程度のA品収量低下を抑制する (表2)。
- 2 10月以降収穫の作型は、8月中下旬からの継続的な薬剤防除により大型病斑の発生を半減以下にすることができ、総収量の10~20%のA品収量低下を抑制する (表3、4)。
- 3 パレード20フロアブル、アミスター20フロアブル、テーク水和剤、アフェットフロアブルを主軸とし、概ね10日おきの継続的な薬剤防除を行うことで効果が得られる (表5)。

### [成果の活用面・留意点]

- 1 黄色斑紋病斑の病原菌 (*Stemphylium* sp.) は多雨・湿潤条件で活発となるため、8月の降雨の前に散布を開始するよう留意する。
- 2 白ネギ品種‘夏扇4号’ (サカタのタネ、耐病性：弱) を用いた試験である。
- 3 防除薬剤の選択にあたっては同じ系統の薬剤の連用を避ける。

[具体的データ]

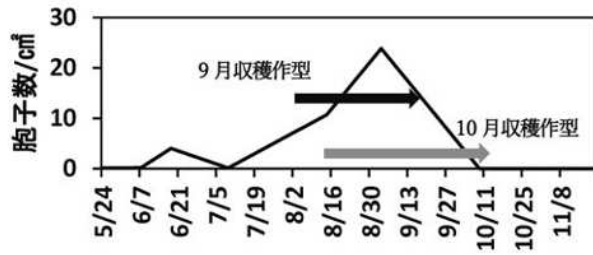


図1 孢子飛散量と防除時期

孢子飛散量は2018年（令和元年度普及上参考となる技術）のデータである。

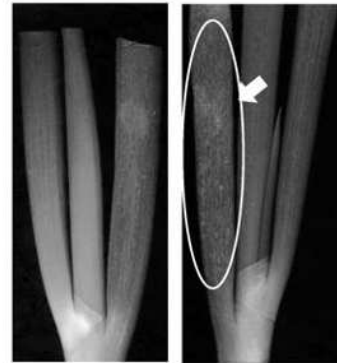


図2 品質を低下させる大型病斑の外観(2019年)

発生部位を白線および矢印で示した

表1 9月収穫作型における適切な薬剤防除開始時期の検討（2019年）

| 防除開始時期 | 総収量(g/m) | 大型病斑              |                       | A品収量(g/m) |
|--------|----------|-------------------|-----------------------|-----------|
|        |          | 発生株率 <sup>z</sup> | 重量 <sup>x</sup> (g/m) |           |
| 8月下旬   | 4658     | 49%               | 2304                  | 2354      |
| 無防除    | 4436     | 52%               | 2327                  | 2108      |

<sup>z</sup> 収穫した全株に占める大型病斑(図1)発生株の割合

<sup>x</sup> (平均調整重) × (収穫本数) × (大型病斑発生株率)で算出

表2 9月収穫作型における適切な薬剤防除開始時期の検討（2020年）

| 防除開始時期 | 総収量(g/m) | 大型病斑              |                       | A品収量(g/m) |
|--------|----------|-------------------|-----------------------|-----------|
|        |          | 発生株率 <sup>z</sup> | 重量 <sup>x</sup> (g/m) |           |
| 8月上旬   | 4504     | 0%                | 0                     | 4504      |
| 8月中旬   | 4573     | 0%                | 0                     | 4573      |
| 無防除    | 4505     | 6%                | 256                   | 4248      |

表3 10月収穫作型における適切な薬剤防除開始時期の検討（2019年）

| 防除開始時期 | 総収量(g/m) | 大型病斑              |                       | A品収量(g/m) |
|--------|----------|-------------------|-----------------------|-----------|
|        |          | 発生株率 <sup>z</sup> | 重量 <sup>x</sup> (g/m) |           |
| 8月下旬   | 5088     | 20%               | 1018                  | 4070      |
| 無防除    | 4685     | 41%               | 1926                  | 2759      |

表4 10月収穫作型における適切な薬剤防除開始時期の検討（2020年）

| 防除開始時期 | 総収量(g/m) | 大型病斑              |                       | A品収量(g/m) |
|--------|----------|-------------------|-----------------------|-----------|
|        |          | 発生株率 <sup>z</sup> | 重量 <sup>x</sup> (g/m) |           |
| 8月中旬   | 4648     | 11%               | 491                   | 4158      |
| 無防除    | 4894     | 21%               | 1148                  | 3746      |

表5 散布薬剤のローテーション（2020年）

| 散布日   | 散布薬剤                  |       |
|-------|-----------------------|-------|
| 8/7   | バレード20フロアブル           | 9月収穫  |
| 8/15  |                       |       |
| 8/28  | テーク水和剤                | 10月収穫 |
| 9/8   | アミスター20フロアブル          |       |
| 9/17  | アフエットフロアブル            |       |
| 10/4  | ポリベリン水和剤<br>ダコニール1000 |       |
| 10/12 | アミスター20フロアブル          |       |

[その他]

研究課題名： 1億円産地づくりステップアップ技術開発

予算区分： 県単

研究期間： 2019～2020年度

研究担当者： 有馬秀和

発表論文等： なし